

リステンプレート施工要領書

日本リステン株式会社

〒509-5103 岐阜県土岐市泉東窯町 4-65

TEL(0572)53-4123

FAX(0572)53-4125

目 次

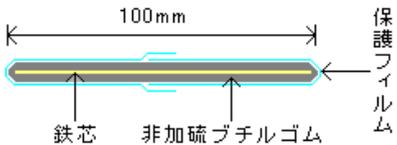
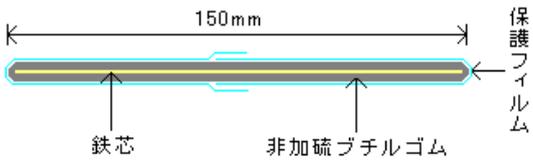
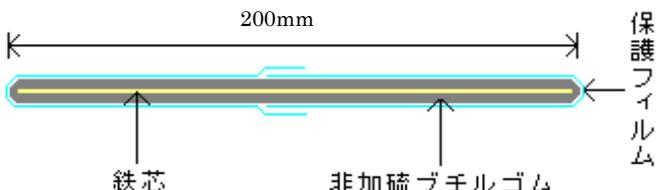
1.	リステンプレートについて	1
2.	止水板の形状	1
3.	副資材、使用量	2
4.	施工道具	2
5.	施工方法	3

1. リステンプレートについて

リステンプレートは鉄板による仕切りに、非加硫ブチルゴムの粘着性を付与した止水板です。

非加硫ブチルゴムはそれ自体の粘着性に加え、コンクリート内のCaO(酸化カルシウム)とイオン反応することにより、さらに強力に接着する性質を持っています。

2. 止水板の形状

商品名	形状	寸法(mm)
リステンプレート 100		W100×T6× 5,100
リステンプレート 150		W150×T6× 5,100
リステンプレート 200		W200×T6× 5,100

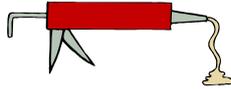
3. 副資材、使用量(目安)

- リステンボンド US-3000(330ml)
リステンプレートの子チルゴムが汚れた場合の補助材料
- 結束線
鉄筋にリステンプレートを吊り下げる際に使用

4. 施工道具



- 金切りバサミ



- コーキングガン

5. 施工方法（水平部）

① リステンプレートをコンクリート打設前に配筋の間に仮置きしてください。

② ジョイント部の保護フィルムを剥がし、100 mm程重ねて圧着します。圧着後は保護フィルムを再度被せてください。

(図 1)

③ コン天より少し上にくる位置に、結束線でリステンプレートを吊るしていきます。縛りピッチは 1.5m程度です。

(図 2)

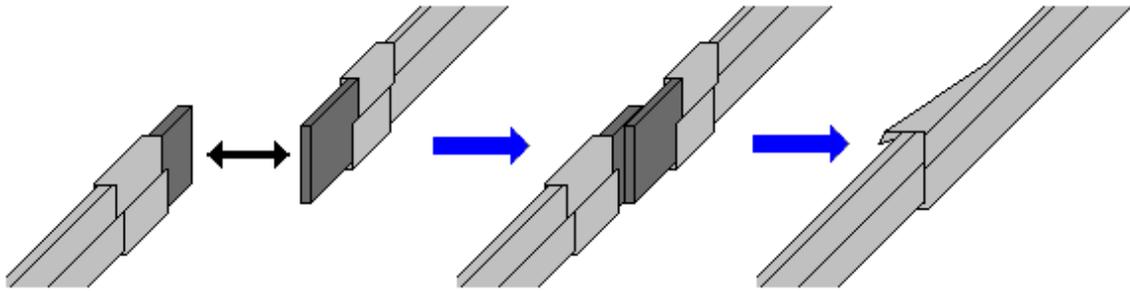
④ コンクリートを打設して水が引き始めた頃、先打側（下側）の保護フィルムを剥がしてリステンプレートを差し込んでいきます。差し込み幅はリステンプレートの高さ 1/3～1/2 です。

その際、上側の保護フィルムがコンクリートに埋まらないよう注意してください。

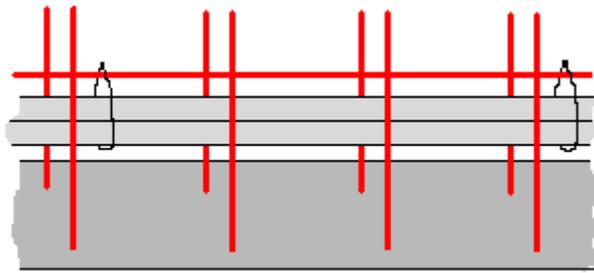
(図 3)

⑤ 後打側(上側)の保護フィルムを型枠の建込み前に剥がします。止水板が曲がっている場合は元に戻してください。また、ブチルゴムが汚れた場合はリステンボンドUS-3000を塗布してください。

(图 1)



(图 2)



(图 3)

